

核兵器全面禁止 のアピール



1945年8月、広島と長崎に落とされた原爆は一瞬のうちに二つの街を廃墟に変え、21万の人々の命を奪いました。いまなお20万を超える被爆者が苦しんでいます。この悲劇をいかなる地にもくり返してはなりません。

いま核兵器の廃絶を求める声は世界にひろがっています。多くの国で市民が行動し、政府がその実現を支持しています。ヒロシマ・ナガサキをくり返させないもつとも確かな保証は核兵器を全面的に禁止し、廃絶することです。

2010年5月の核不拡散条約（NPT）再検討会議では、核保有国を含む189の国々が「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを決めました。いま、それを実行に移すときです。

**私たちはすべての国の政府に、
すみやかに核兵器禁止条約の交渉を開始するよう求めます。**

名 前	住 所	募 金

この署名は2011年2月15日、被爆地広島、長崎から、両市長をはじめ内外の広範な賛同を得てスタートしました。みなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

取扱団体